

ひこねしちよーの部屋



◀ひこねしちよー
CHはこちら

現在、パリ 2024 オリンピックの真っ最中ですが、彦根市出身の大橋悠依選手（競泳）、森花音選手（ホッケー）は2大会連続、桐生祥秀選手（陸上）は3大会連続の五輪出場であり、まさに彦根の誇りです。他にも市内企業に所縁がある須崎優衣選手（レスリング）も応援しております。

実は、彦根市には世界レベルで活躍されているアスリートが多数おられます。7月に開催された世界デフ陸上に出場された山本剛士選手はデフ陸上男子 400 m 日本記録保持者ですし、惜しくも五輪出場は逃されましたが、女子スケートボードのトップアスリートである手塚まみ選手、Jリーグ・アビスパ福岡所属で日本代表歴もある岩崎悠人選手も本市の出身です。さらに先日ベンチプレスの世界大会で優勝された横山晃生さんは彦根市在住。ご紹介しきれませんが、皆さんホントに明るくて素敵な方々で、でもストイックなんですよね、敬意を表します。

ちなみに東京オリンピック 2020 のあと、桐生選手に「ひこねお城まつりの直政役」と平和堂 HATO スタジアムにて行われた、「Sprint 50 Challenge」（50m 走の陸上教室）を直接お願いしたところ、快諾いただきどちらも実現いたしました。近年の高校野球やサッカーも目を見張りますが、他の競技でも全国大会レベルの活躍をされている小中高の生徒さんが多数おられ、実は？やはり？「スポーツのまち彦根」です、すごい！

来年はいよいよ、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ、開閉会式や陸上競技は平和堂 HATO スタジアムであり、彦根がメイン会場と言ってもいいでしょう。もちろん、これがゴールではありません。大会を通じて持続可能なスポーツでのまちづくりができるよう、万全の準備と同時にアフター国スポを視野に入れて、様々な施策を皆さんと一緒に進めて参ります。



和田 裕行

彦根城は、知れば知るほど、オモシロイ。

未来に残そう みんなのお城 -vol.19-

参勤交代が行われていた時のお城

彦根城を世界遺産に



問 彦根城世界遺産登録推進室
☎ 26-5833 FAX 26-5899

各地の大名を一定期間江戸に住ませる「参勤交代」の制度は、大名に幕府での役割があることはもちろん、地元で反乱を計画したり、勝手なことをしないように統制することでも目的でした。このように大名は、ずっと自分の城にいたわけではありませんでした。そのため、その間の城は大名と同じ考えを共有している家臣たちが責任を持って守っていました。特に井伊家は譜代大名の筆頭で、將軍を補佐する役割を担った特別な立場の大名でした。長期不在となる期間も、優秀な家臣たちが彦根城を守り、平和を保っていました。

